

Thinking about the future of Kasashima

笠島の
古いまち並みを
考え巡る――

ここで暮らす人たちの立場から、
笠島のこれからを考える。

香川県と岡山県にわたって分布する大小28の島から成る塩飽諸島の中心となる本島は、海運や廻船業で活躍した塩飽水軍の本拠地として栄えました。

本島の北東部に位置する笠島地区は江戸後期から昭和初期の歴史的まち並みが残る港町で、昭和60年4月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、今年で40周年を迎えます。

現在、笠島地区は住民の高齢化と人口減少により地区コミュニティの維持が困難となり、歴史的まち並みを維持することも危ぶまれています。暮らしの営みがある美しいまち並みを守り続けていくには、ここで暮らす人を増やすための取り組みを進めると共に、ここに住まなくてもできる、島外からの協力や応援が求められています。

シンポジウムでは、地域で暮らす人たちにとって本当に必要なものは何か、どんな協力が必要なのか、参加者と一緒に考え議論します。

2025年11月16日(日) 丸亀市保健福祉センター・4F(無料)
(ひまわりセンター)

開催時間：13時～16時20分 参加費：無料(会場及びオンラインで開催)／会場参加100名・オンライン参加200名
主催：丸亀市、NPO法人本島町笠島まち並保存協力会 協力：NPO法人香川歴史的建造物保存活用会議

「住まなくても、
でもいること」

丸亀市塩飽本島町笠島 重要伝統的建造物群保存地区 選定40周年記念シンポジウム

「住まなくても、できること」

ここで暮らす人たちの立場から、
笠島のこれからを考える。

2025年11月16日(日)
丸亀市保健福祉センター・4F(無料)

(ひまわりセンター) 丸亀市大手町二丁目1-7

開催時間: 13時~16時20分

参加費: 無料(会場及びオンラインで開催)

お申し込み: 下記「お申し込み・問合せ」をご覧ください

主催: 丸亀市、NPO法人本島町笠島まち並保存協力会

協力: NPO法人香川歴史的建造物保存活用会議

シンポジウム

第1部: 報告

① 笠島の現状 登壇者: 三宅邦夫(NPO法人本島町笠島まち並保存協力会)

② 重伝建地区の理念と制度 登壇者: 村上玲奈(文化庁)

③ 事例報告 登壇者: 時岡壮太(株式会社デキタ・重伝建地区 若狭熊川宿)

第2部: パネルディスカッション

① 主旨説明など 登壇者: 田口太郎(徳島大学)

② パネルディスカッション 登壇者: 田口太郎、時岡壮太、村上玲奈、三宅邦夫

③ 質疑応答

申込み・問合せ

申込み方法: Googleフォーム

問合せ先: NPO法人香川歴史的建造物保存活用会議(担当: 大西)

丸亀市中府町四丁目2-27

※シンポジウム後にアンケートをお願いします。



申込み用QRコード



NPO法人香川歴史的
建造物保存活用会議
ホームページ



登壇者プロフィール (50音順)



田口太郎 (たぐち・たろう)

徳島大学教授。1976年神奈川県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科、同大学院修了。小田原市政政策総合研究所特定研究員、早稲田大学建築学科助手、新潟工科大学建築学科准教授、徳島大学准教授を経て現職。総務省「これからの移住定住施策のあり方に関する検討会」委員、内閣府「地方創生推進交付金のあり方に関する検討会」委員など歴任。専門は地域計画、まちづくり。自身も徳島県内の過疎集落に移住し、生活している。博士(工学)。



時岡壮太 (ときおか・そうた)

株式会社デキタ代表取締役。2009年早稲田大学大学院修了(建築学専攻)。2011年に株式会社デキタを設立。2019年に福井県若狭町に会社を移転、自身も20年ぶりに若狭にUターンする。現在、若狭町の伝建地区若狭熊川宿において古民家ホテル「八百熊川」、複合アウトドア施設「山座熊川」等の開発・運営、伝統野菜等を活用した食品加工業を行うとともに、若狭地方の公民連携まちづくりに携わっている。文化庁建築文化フェロー(2025~)



三宅邦夫 (みやけ・くにお)

1949年生まれ。国立徳島電気高等学校専攻科卒。1969年山下新日本汽船(株)入社。IBM社の講習を受け草創期の情報処理業務に従事。1988年通信の規制緩和で誕生した国際デジタル通信(株)の設立に従事。2000年Cable & Wireless IDC社のVice President/CIO Japanに就任。2005年ネットワンシステムズ(株)高松支店長に就任。61才で退職後は塩飽本島の活性化活動に従事。(一社)笠島まち並保存活用会代表理事、NPO本島町笠島まち並保存協力会会長。



村上玲奈 (むらかみ・れいな)

文化庁文化財第二課伝統的建造物群部門、文化財調査官。2017年より文化庁に勤務し、国宝・重要文化財の修理、伝統的建造物群保存地区を担当。



重要伝統的建造物群保存地区
丸亀市塩飽本島町笠島 選定40周年記念祭

笠島まち並 40周年記念祭

2025年10月25日(土)
11:30~16:00
本島町笠島

笠島地区
で受け継が
れてきた
風習やお祭りを
お披露目します。



お接待など

時間: 11:45~
場所: ●尾上神社境内／お接待
●尾上神社境内・マッチョ通り／屋台興行
●まち並駐車場／移動販売

本島では毎年旧暦3月4日に、島の人たちが先祖供養のため浄財を集めて参拝者にお接待をする「お大師まいり」が行われ、小豆ご飯やお菓子などで参拝者を接待しています。選定40周年を記念して地域の人たちが、お祭りにご参加の皆さまにお接待をします。
(屋台、移動販売などは有料です)

伊勢大神楽 (いせだいかぐら)

時間: 12:30~13:30
場所: マッチョ通り

伊勢大神楽は、獅子舞を舞いながら諸国を巡り伊勢大神楽講社の神札を頒布してまわる神楽です。起源は450年以上前といわれ国の重要無形民俗文化財に指定されています。香川県では塩飽諸島と小豆島を巡り、本島には毎年9月ごろ訪れます。各戸で祈禱をし、神社境内では祭家芸能の形を通した放下芸や萬歳(まんざい)を披露します。
この度は記念祭のために
お招きしました。



笠島のまち並み案内

時間: 15:00~16:00
場所: 重要伝統的建造物群保存地区

笠島地区での様々な活動に協力している香川県内の大学生が、笠島の歴史的まち並みや建造物、風景などをご案内します。

「協力: 四国職業能力開発大学校・KASASHIMA STUDIO(香川大学生団体)」

千歳楽 (せんたいらく) のお披露目

時間: 13:45~14:15
場所: 尾上神社境内

三豊などでは「太鼓台」といいますが、岡山県南部や備讃瀬戸では「千歳楽」と呼んでいます。かき手がいなくなり長い間倉庫に仕舞われたままでしたが、島外者が協力して2023年から組立披露目までを行うようになりました。

